

定員
10名

受講料
1,000円

オンライン開講

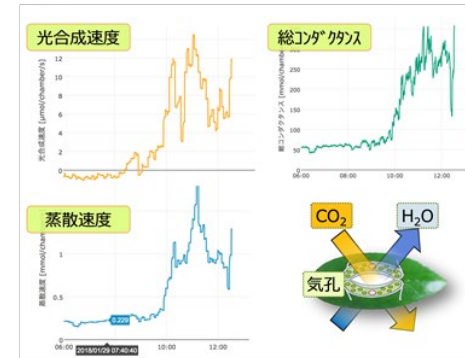
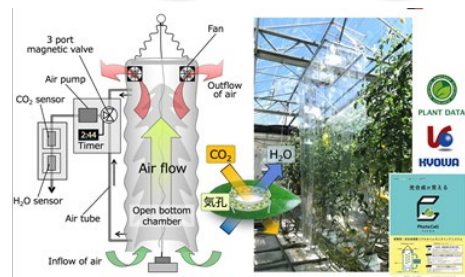
Bコース [実習] 光合成計測チャンバデータの活用

zoomを使用したリアルタイム講義で
どなたでも・どこでもライブで授業に参加できます！
※録画した物を後日オンデマンドで聴講可能(参加登録者限定・期間
限定。申込期間内に受付された方のみ対応。)

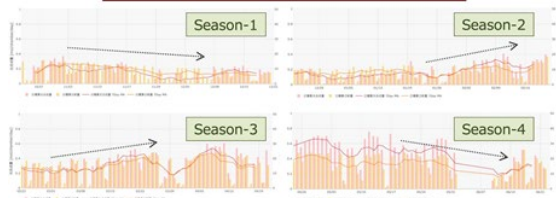
【主催】 一般社団法人日本施設園芸協会
【事務局】 愛媛大学先端農業R&Dセンター
【概要】 愛媛大学先端農業R&Dセンターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA(Speaking Plant Approach) 技術*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。Bコースでは、少人数での講義と実習を通じて様々な計測技術を習得できます。
*SPA：各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。

2025.9/3 [水] 15:00~16:30
(受付開始14:50~)

講師	科目・内容
高山 弘太郎 (愛媛大学)	<p>本講義では、生産現場に常設した光合成蒸散計測システムを用いて、トマト個体群の光合成速度と蒸散速度をリアルタイムに把握する方法と、取得されたデータの分析方法(光-光合成曲線、飽差-蒸散速度、日射-蒸散速度といった環境応答の分析を含む)、さらにはこれを用いた環境制御の最適化戦略の策定方法についてディスカッションします。また、テープメジャーを用いた週次の生育調査データを見える化したバイオインフォグラフィックである“生育スケルトン”を用いて、草勢(樹勢)の変化の様子を可視化するとともに、栽培管理のあり方についてレビューします。</p> <p>今回の講義は、千葉大学様ご協力の下、柏の葉キャンパス温室内に設置した光合成計測チャンバのデータを用いて実施いたします。</p>
磯山 侑里 (豊橋技術科学大学)	



解析対象期間の日積算日射量と日積算光合成量の変化



申込方法 締切：9/2(火)正午

・参加申込フォームより、お申し込みください。折り返し、受講料のお振り込み方法をメールにてご案内いたします。お振り込みの確認が取れましたら受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。
・オンデマンド配信ではGoogleのサービスを利用いたします。オンデマンド配信を希望される場合は申込み時にGoogleアカウントが必要となります。

参加申込みフォーム

<https://forms.office.com/r/KHXvbvBbY1>



zoomを初めてご利用になる方へ

ネットワーク環境によりzoomへ接続できない場合がございます。zoomオフィシャルサイトにて無料で接続テストがお試しいただけます。ご受講までに接続テスト(動作確認)をしていただく事を強くおすすめいたします。 <https://zoom.us/test>

《問い合わせ》

愛媛大学先端農業R&Dセンター 松山市樽味3-5-7 (089-946-9901)
事務担当：渡邊・間宮 E-mail:zinzai@agr.ehime-u.ac.jp